

大阪を生物多様性の トップランナーに！



地方独立行政法人 大阪府立 環境農林水産総合研究所
 生物多様性センター



生物多様性の
 調査

自動撮影カメラ
 自動撮影カメラによる野生鳥獣調査



生物多様性の
 活用

災害から府民をまもる森づくり

生物多様性の
 保全

イタセンパラの保全活動に
 取り組んでいる淀川城北ワンド



生物多様性の
 普及

子どもから大人まで、たくさんの方が
 大阪の生物多様性を知り、関わってい
 ただけるよう普及に努めます。
 (自然環境グループ 近藤研究員)



小学生対象の環境学習

生物多様性とは、さまざまな生物
 や生態系がもつ個性やつながり
 を表す言葉です。

生物多様性は、きれいな水・土・空気を守
 ること以外にも、農林水産業・工業などを
 通じて、さまざまな恵み (**生態系サービス**)
 をわたしたちの生活に与えてくれています。

大阪の生物多様性を 調べ、守り、活かし、広めます

災害に強い森づくり - 生物多様性保全にも貢献！ -



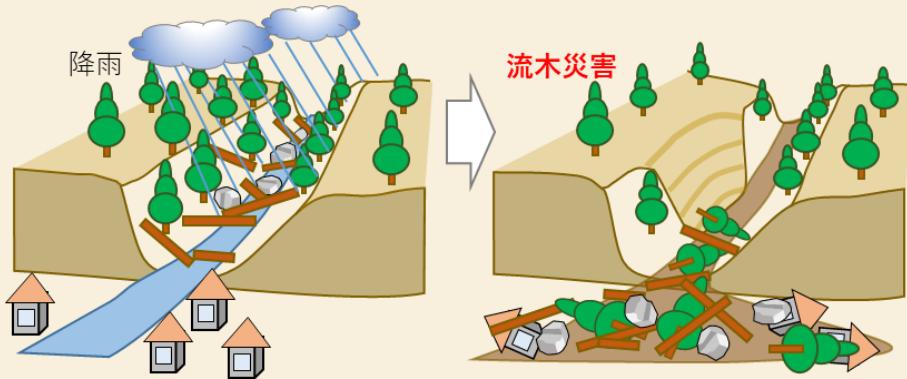
府内で発生した流木



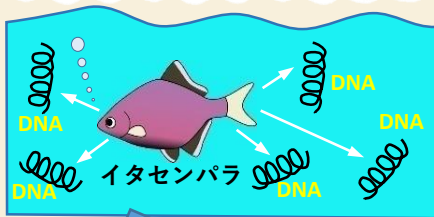
森林を適正に管理するための調査研究を通じて、山地災害からわたしたちの暮らしを守ります！
(自然環境グループ 土井主任研究員)

近年の集中豪雨の増加と、森林の手入れ不足が原因で、**府内森林では木が土石流と共に流れ出す流木災害の発生が増加し、府民のくらしと生物多様性をおびやかしています。**

そこで大阪府では、流木の発生を防ぐため、手入れの遅れている森林を対象に、流木となってしまう木を半分に減らす間伐を進めています。生物多様性センターでは、**大雨の前後で倒木等の位置を測量し、どのような木の危険性が高いのかなどを明らかにして、効果的な対策の支援を行っています。**



コップ一杯の水から魚の種類を判別 - 環境DNAで生物多様性を調べる -



環境DNAとは、環境中に存在するDNAのことです。川や池の水中には魚などのDNAを含む糞や粘液などが漂っているので、**採水して分析すると、水中のDNAからその水域に生息する魚種を特定することができます。**

採水調査は1回に多地点の調査が可能で、さらに個体数が少ない種（網などで採捕困難）の情報も得られます。

府内全域を網羅する調査も可能ですので、**生物多様性基礎データの集積に強力なツールとなっています。**



いつ、どこに、どんな種が生息するか？それを把握する事が、保全と活用の第一歩です！
(自然環境グループ 山本義彦主任研究員)



採水



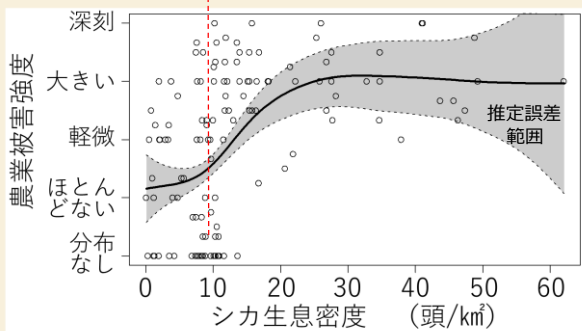
分析

野生鳥獣との共存をめざして - 科学的データに基づく個体数管理 -

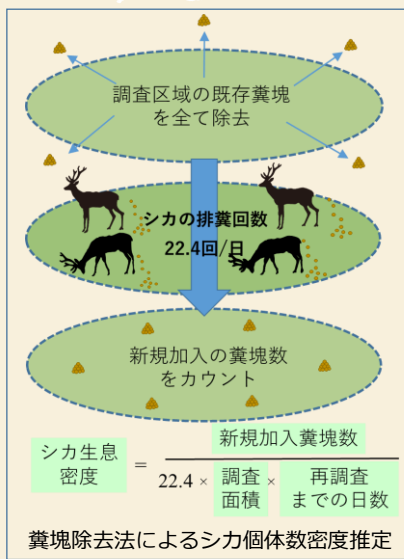
大阪のシカは、主に北摂地域に分布しています。現在、シカ高密度地域では農業被害が発生しています。

そこで、**シカの計画的な管理のため、「糞塊除去法(右図)」により、シカの生息密度と農業被害との関係を解析した結果、密度が1平方**

キロメートルあたり10頭を超えると被害が急激に増加することが分かりました。この密度を指標にして、大阪府では、シカの管理に取り組んでいます。



シカ生息密度と農業被害強度の関係



人と自然のより良い関係が構築できるよう、これからも大阪の生態系を見守っていきます
(自然環境グループ 幸田良介主任研究員)

